

太宰府市民の皆さん、
こんにちは!

ほたる

2023年11月第34号

県議会議員

わたなべ美穂です!

ごあいさつ



本年6月24日の総会をもって「わたなべ美穂後援会」の会長を大藪善治前会長から引き継ぎました。わたなべ美穂が市議三期、県議三期と務めることができたのは、大藪前会長をはじめ後援会、支持者の皆さんの長年にわたる熱い応援の賜物です。

世界に蔓延したコロナウイルスは私たちの暮らしを揺るがし、日本が70有余年かけ築き上げてきた平和をも危うくする戦争が世界各地で起こり、ここ数年の間に身の回りでも分断や孤立が進んでいることを感じています。だからこそいま「声が届きにくい市民の暮らしを守る」との公約を掲げ、誠実に実績を重ねる「わたなべ美穂」の活動をあらためて評価し、未来を託す若い人々へも多彩な魅力を訴えながら、ともに歩みたいと考えています。

わたなべ美穂後援会 会長 高瀬昭登

困
む
会

県政報告会再開!

日時 11月26日(日) 10時

場所 国分共同利用施設

どなたでもどこの地域でもご参加いただけます。

選挙後、五条西区を皮切りに各自治会単位の県政報告会を再開しました!皆さんの地域へも出かけてまいりますので、日頃困っていること、不思議に思っていること、なんでも結構ですので、わたなべ美穂にお聞かせください!!



9月議会報告

代表質問

わたなべ美穂は政策審議会会長として毎回会派の代表質問の内容を取りまとめ、執行部と議論を重ねています。今議会は以下の通りです。

(1) 災害への対応要請

- ・抜本的な治水事業
- ・川底の掘り下げに民間事業者を活用すること
- ・田んぼダムやクリークなどの活用による治水の進捗状況の確認
- ・土砂災害危険区域の見直し
- ・ドローンの活用を提言
- ・災害ボランティア支援体制の強化

(2) 地域公共交通の在り方

- ・地域公共交通の持続性の確保を要請
- ・交通税の導入を提案

(3) 引きこもり支援

- ・メタバース（インターネット上の仮想空間）の活用

(4) 気候変動にともなう第一次産業への支援策

(5) 豚熱（豚コレラ）に対する本県の対応確認

(6) 教育委員会の障がい者雇用率の改善提案

(7) 県警の薬物犯罪への取り組み状況確認



一般質問

里親制度の充実について



福岡県では実親の元ではなく、社会的養育が必要な子どもは毎年700名前後で推移しています。国は家庭的養育を優先していますが、そのためには養子縁組や里親制度を充実させなければなりません。現状本県の里親委託率は24%程度で、全国でも20位と十分ではありません。また、県内の地域によって委託率に格差が出ており、今後民間の力を活用しながら、委託率を上げ、少しでも子どもの養育環境が整うよう要望しました。

活動再開!!



コロナウイルス感染症5類への移行を受けて、各自治会において様々なイベントが復活しています。わたなべ美穂もできる限り夏祭りや敬老会にお伺いし、自治会の様子を拝見しました。近年自治会役員の方の高齢化が進んでいますが、それに伴いそれぞれが創意工夫を凝らした運営をされており、皆さんの努力に頭が下がります。

WEBサイトもご覧ください!

「皆さんの声をお聞かせください!」

あなたとつなぐ県政 わたなべ美穂 事務所

